

【積算参考資料作成作業項目内訳表】

作業項目	作業内容	作業実施欄	
		当初	変更
1 現地調査	対象工事の実施設計業務報告書（以下「実施設計業務報告書」という。）に基づき現地を確認する。		
2 設計関係資料把握	実施設計業務報告書から本業務の作業（工事）範囲の確認、照合作業を行うとともに、作業計画を樹立する。 a.実施設計業務報告書（数量計算書を除く） b.設計図 c.数量計算書		
3 設計図作成	実施設計業務報告書の設計図（仮設図含む）を修正し、工事発注図面を作成する。ここでいう修正とは、工区割りによる修正、施工範囲の明示、図面タイトル修正をいう。		
4 数量計算書作成	実施設計業務報告書の数量計算書を発注予定工事毎にとりまとめる。		
5 施工計画書作成	実施設計業務報告書の施工計画（仮設工事計画含む）及び工事工程表の修正を行う。		
6 特別仕様書作成	提示する類似の工事の例を見本として、特別仕様書（工事数量表含む）を作成する。		
7 積算資料及び 施工単価条件資料の作成	各工種において、積算の根拠（施工歩掛、施工機械の選定等）資料及び施工単価条件の選定資料等を作成する。		
8 特別単価作成	単価を作成する際、土地改良工事積算基準及び工事工種体系が定められていない工種で、各歩掛を組み合わせる方が適切な場合には特別単価の作成を行う。		
9 標準積算システム入力	業務等を発注する事業（務）所において標準積算システムを利用して積算書を作成する。		
10 点検取りまとめ	成果資料の点検及びとりまとめを行い、報告書を作成する。		